

平成30年10月25日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	今後は「GAP推進方針」に基づき計画的に活動 ～まずは関係機関職員の気運醸成から～
-----	--

(ダイジェスト)

石西地域での GAP の取組みを加速するため、関係機関担当で「GAP 推進チーム」を組織し「GAP 推進方針」を策定しました。

今後は石西地域農林振興協議会（以下、協議会）の各専門部会が中心となって、推進方針に基づき、具体的に進めていくことにしています。

石西地域では平成 28 年度から県戦略プランの地域プロジェクトの主な取組みに農業生産工程管理（GAP）の推進を掲げていますが、各機関担当者の GAP に関する理解度に差があり、また具体的な取組方針が定まっていなかったため、生産者に対しても十分に浸透していない状況です。

そこで、本年 6 月に協議会において、各専門部会横断的な「石西地域 GAP 推進チーム」（チーム員 15 名）を設置し、関係機関が一体となって推進していく体制を整えました。そして推進する側が GAP を正しく理解するため、チーム員を対象とした美味しまね認証ほ場の現地視察や、GAP の基礎研修会を開催してきました。

そしてこの度、GAP の取組みを計画的に広げていくため、「石西地域における GAP 推進方針」を策定し、協議会の各専門部会が対象に応じた GAP 推進方法を検討し、具体的な取組みを行っていくことにしました。

9 月 26 日には、関係機関の気運を高めるため、農産園芸課食の安全推進室を講師にチーム員以外の関係機関職員を対象とする研修会を開催し、美味しまね認証制度の概要や申請の流れ等について説明を受け、認証を受けるために準備すべきことや、現地審査時にチェックされる基準等、生産者の支援に役立つ知識を学びました。

今後は、各生産部会等において研修会、総会等の場を活用して GAP の啓発を行い、推進チームで進捗状況を共有しながら強力で推進を図っていきます。

